

# 21 世紀理事会における首脳発言

田中 修

## はじめに

11 月 1 日、李克強総理は 21 世紀理事会<sup>1</sup>北京会議開幕式において「変革する世界における中国」と題する講演を行った。また習近平国家主席は 11 月 2 日、メンバーと会見した。本稿では、両者の発言の概要を紹介する（新華網北京電 2013 年 11 月 2 日）。

## 1. 李克強総理の開幕式講演

この会議の前、理事会は私に質問の明細を提供した。その内容は、中国の発展が直面する試練、改革開放の措置、国際ガバナンスの理念・役割等多方面にわたるものであった。このことは、皆が更に多く中国を理解し、国際舞台において中国が演ずる役割を理解したいと希望していることを示すものである。

理事会は、今回の会議のテーマを「中国を学び理解する」と確定した。これは見れば簡単だが、内容は相当豊富である。私はこのテーマを賞賛する。なぜなら、これは皆が中国に関心をもち、近い距離から中国を観察し、立体的に中国を認識し、とりわけ中国の未来を展望することを希望していることを示すものだからである。

国際社会にとって、中国を学び理解し、中国を了解するには、私は 3 点が重要と思っている。過去から我々はそのようにしてきた。未来に向けて、我々はこれを引き続き堅持・推進していく

### （1）常に発展と民生を優先することを堅持し、経済建設という中心をしっかりと掴み、手を緩めない

中国は十数億の人口の大国であり、国際社会は中国について争いのない共通認識をもっているように見える。即ち、過去 30 年余り、世界銀行の基準によれば、中国では 6 億余りの貧困人口が減少し、これらの人々は基本的な生存権と人格の尊厳を有するようになった。これは発展によるものである。現在世界銀行の基準によれば、わが国は中等所得水準にあるにすぎず、2 億近くの人口がまだ貧困から脱しておらず、中国はなお発展が必要である<sup>2</sup>。

事実上、30 年余り、どのような試練に遭遇しても、我々はいつも発展を第 1 の重要任務として、経済の年平均 9.8% の成長を実現してきた。まさにこれゆえに、中国は現在のような

---

1 国際的シンクタンク。理事長はセディージョメキシコ元大統領、ほかにメンバーはブラウン英国前首相、キーティングオーストラリア元首相、シンガポール国立大学リークワンユー公共政策学院馬凱碩院長など。

2 ゴチックは筆者。

な繁栄の局面を迎えたのである。

我々の経済発展は今日に至り、一連の深層の矛盾と構造的問題に直面し、経済の転換を推進しなければならず、転換がなければ持続は難しい。このため、我々は経済のグレードアップを提起し、発展の質・効率の向上に力を入れている。

経済が重要であれば、民生は大切である。我々は、都市・農村住民の所得の伸びが経済発展と同歩調となるよう努力し、社会保障のセーフティネットをしっかりと編み上げ、国民生活の水準・質を不断に高める。人々は物質生活の水準向上のみならず、精神生活の豊かさを追求し、さらには社会の公正を希望している。我々は制度建設を加速し、権利・機会・ルール of 公平を促進し、教育・就業・起業の公平を促進し、社会の縦方向の流動を促進し、各人の発展の権利を保障して、社会の不断の進歩を推進する。

### (2) 常に改革開放を堅持し、発展の動力と市場の活力を不断に増強する

中国の発展を回顧すると、正に改革開放の精彩な開幕となる。我々は計画経済の硬直した体制を打破し、市場化改革を推進し、国家の発展・進歩の各方面に改革・イノベーションを貫徹させてきた。中国の国情から出発すると同時に、世界の文明の成果を参考にして、中国の特色ある社会主義の道を歩んできた。

中国の改革は、既に深水区域に入っており、我々は改革を全面的に深化させ、深層レベルの障害突破に力を入れ、構造改革を推進する。皆が関心を寄せている財政・金融・価格・企業等の改革については、いずれも不断に深く進めていく。

開放も、中国発展の重要な牽引力であり、開放により改革を促進・牽引できる。我々は主動的に経済のグローバル化プロセスに参加し、WTOに加盟し、マルチ・地域の協力を開拓・展開することにより、中国経済を世界経済に融け込ませてきた。現在、わが国の輸出入が世界に占めるウエイトは、既に30年余り前の1%に満たないレベルから10.5%に上昇した。

中国人民は对外开放の良さを知っており、中国の对外开放は更に大きな歩みを踏み出していく。最近、中国（上海）自由貿易試験区が正式に始動したが、政府の簡素化・権限の開放等多くの措置を通じて、改革開放を推進していく。これは、1つの側面から中国が開放を拡大する決意と自信を示したものである。

### (3) 常に平和な国際環境と安定した周辺環境を作り上げるよう努力し、互惠・Win-Winを実現する

これは、中国が発展する必要条件である。第2次世界大戦後確立された安全・安定した秩序により、我々の世界は総体として平和を維持してきた。冷戦終結後、各国は更に発展・協力に焦点を合わせ、世界経済は高速成長の道に入り、新興国家が台頭してきた。正にこの背景下、中国は得難い発展のチャンスを勝ち取ったのである。受益者として、我々はとりわけこのことを大切に考えている。

中国は人口大国として、現代化の実現は人類歴史上踏襲すべき前例がなく、我々は現在も将来も多くの難題に遭遇することになる。しかし、現代化の実現は、13億人の共同の願望である。我々は、これらの難題を解決することを道義上ためらうことはできない。中国自身の事情をしっかりと成しとげることが、世界への貢献にもなるのである。しかも、これらの難題の解決には、必然的に平和な国際環境と安定した周辺環境が必要となる。

中国は周辺国家との善隣友好関係を不断に強固にし発展させることを望んでおり、世界の異なる類型の国家との関係を積極的に発展させる。我々は友人が多ければ多いほどよく、世界中に友人をもつことを希望する。我々は互利互惠の理念を守り、最大限度各国と協力を展開し、双方の発展ためにチャンスを生み出し、余地を開拓する。平和発展の道を歩むことは、中国は過去にそうであったし、未来も必ず断固としてこの道を歩む。

世界は正に深刻な変革の中にあり、チャンスは多いが、リスクも多い。我々の世界も地球村であり、各国間の相互連携と依存は日まじに緊密になっており、人々は世界の安寧・安定、経済の繁栄・発展、自身の幸福・平安健康を希望している。これは、各国の利益の共通点・合流点であり、これを集合し不断に拡大しなければならない。このプロセスにおいて、中国は引き続き、自身の貢献を行っていく。

#### (1) 中国は、世界経済の重要な貢献者である

数十年の経済発展において、安定と自信、成長と潜在力、発展と協力は、既に中国が世界に伝達したキーワードとなっている。今後若干年、中国経済は中高速成長を続ける。

中国が現代化を実現するには、なお長い道のりを歩まなければならない。これは中国人民に幸福をもたらすのみならず、世界人民にも幸福をもたらすことになる。

中国の未来の発展は転換・グレードアップによる発展であり、内需拡大による発展であり、新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化を同歩調で推進することによる発展であり、グリーンな道を歩むことによる発展である。これはその他の経済国のバランスのとれた発展、世界の持続可能な発展にとって、新たなチャンスをもたらすことになる。

#### (2) 中国は、グローバルなガバナンスの積極的建設者である

我々は国連を中心とした国際システムの擁護に努力し、建設的態度により関連改革に参加し、これを推進し、国際関係の民主化を主張する。

現在、地域経済は正に再編・再構築の時期にあり、我々はドーハラウンド交渉等マルチの貿易体制が引き続き前に向かって発展することを希望する。同時に、地域の貿易投資自由化・簡便化を推進し、この両輪を同時に回転させる。中国とアセアン等はすでに「地域全面経済パートナーシップ (RCEP)」の共通認識に至っており、これは TPP との交流・相互作用、相互促進が可能である。

気候変動への対応、食糧・エネルギー・資源の安全保障、公共衛生の強化等の問題は、

各国人民の利益に符合する。中国は国際社会との意思疎通・協力を更に強化し、グローバルな伝統・非伝統の安全分野における試練に共同で対応する。

### (3) 中国は、人類平和の断固たる擁護者である

中国人民は平和を熱愛する。中国人民はかつてさんざん虐げられ、戦乱の苦しみを経て、強く願うのは天下太平である。国が強くなれば必ず覇を唱えるというのは、中国の政治理念ではないし、中国の発展のロジックではないし、中国の文化・伝統でもない。我々は「己の欲せざるところ、人に施すなかれ」を励行しており、中国は永遠に拡張しない。「言葉は誠実、行動は果断」、我々はこのように言ってきたし、このようにしてもきた。

最近中国は、アセアンと南シナ海の平和・安寧を擁護すること、一部国家と南シナ海を共同開発することについて、共同認識に達した。歴史的に残された問題については、我々是对話を通じた解決を主張しており、平和・協力・発展の大局を擁護する。

世界平和を擁護するには、国際社会の共同努力が必要である。中国は責任ある大国であり、建設的な役割を發揮する。多様な形式によるテロリズムに反対し、大規模な殺傷力のある武器の拡散を防止することは、国際社会の共同願望であり、中国政府の一貫した主張であり、一貫した方法である。

21世紀理事会は、国際面で進んで責任を担う政治家・思想家・企業家が集結し、叡智があり博学で、見識が多く知識は広範である。この会議がテーマをめぐり、多くの思想の火花がぶつかり、真実の中国が世界に伝達され、世界に中国が更に多く紹介され、世界が更に好く中国を学び理解するようになり、中国が更に好く世界を学び理解するようになると信じている。

そのようになれば、我々が生活するこの世界で、誤解が少なくなり、理解が深まり、紛争が減り、調和が進むことになろう。

## 2. 習近平国家主席の面会時発言

この会議は、「中国を学び理解する」がテーマであり、中国と外国の相互理解の一助となる。中国人民は、正に「2つの百年」という奮闘目標と中華民族の偉大な復興という中国の夢の実現に向け努力しているところである。中国の夢と、中国人民の素晴らしい生活を追求するという夢は相関連しており、各国人民の平和・発展を追求するという素晴らしい夢とも相通ずるものがある。

中国の夢を実現するには、我々は中国の特色ある社会主義の道を歩むことを堅持しなければならない。この道は、中国人民が長期の苦難を経て模索した後に探し当てた正確な道である。

中国が世界が注目する発展の成果を得たが、なお世界で最大の発展途上国であり、長期にわたり社会主義初級段階にいることになる。中国の発展は任重く、道は遠い。発展の問題を解決し、民生を改善することが我々の第一の重要任務である。

現在、中国経済は安定の中で前進している。上半期、GDPは7.6%成長し、7-9月期は7.8%であった。我々は、正に発展方式を転換し、経済構造を調整し、新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化の推進を加速している。中国経済の発展を支える内生的要因は十分である。我々は、中国経済が持続的で健全な発展を維持することに自信がある。中国は、いわゆる「中等所得の罠」には落ち込まない。

中国は改革開放の道を動揺させないことを堅持する。中国がますます発展するということは、即ちますます開放が進むということである。中国の開放の大きな門戸を閉ざすことは不可能である。改革開放に永遠に終わりはなく、ただ進みのみであり完成する時はない。

あと数日で、我々は党18期3中全会を召集し、総合改革方案を提出して、改革の全面的深化について総体的手配を進める。

中国は平和発展を堅持し、国が強まれば覇を唱えるという道を絶対歩まない。中国の発展に伴い、中国は更に多くの国際責任を引き受け、国際事務・国際システムの改革に更に積極的に参加する。

中国は世界の平和・発展促進の建設的パワーである。我々は引き続き謙虚な態度を抱き、其他国家の先進理念・発展経験を学習し参考とし、これを包み込み蓄え、其他国家と調和のとれた共生発展の道を歩む。

(11月7日記)